

## 一般 教師の働き方改革と給特法を問う

織部 光男（無所属）



時間はありません。

Q 菊川西中学校の超過勤務平均69・21時間は多いと考えますが、中学校の超過勤務最大の原因は何でしょうか。

A 平日・休日における部活動指導だと考えます。

Q 中学校の部活動を国が押し進める地域移行に反して移行はしないとした目的は？

A 休日の部活動から段階的に地域移行することを基本として協議しております。

Q 西中学校教師34名の平均基本給での4%はいくらになりますか。

A 県費負担教職員であり静岡県が行っております。

Q コミュニティ・スクール化で1校での平均増加時間を試算していますか。またスクラップ事業の短縮は何時間ですか。

A 学舎運営協議会が学校運営協議会に移行するため、増加時間はないものと考えております。また、スクラップ事業についても、短縮

## 一般 市民の声を市政に生かす広聴を

倉部 光世（市民ネット）



自ら市政のことを考える市民意識を醸成し、市民の声の活用を促進するためには、様々な政策形成の場で市民の声を共有することが不可欠である。

Q 菊川市の市民意見の広聴、活用に対する考え方は。

A まちづくりを進めていく上で、市民の意見を聞き、その意見を反映することは大変重要である。市長や担当部署が日々の会議や行事で市民意見を頂くことも貴重な場だと考えている。

Q パブリックコメント募集についての課題と広く意見を集めるためには。

A 制度自体や実施についての認知度の低さ、公表されている資料の難しさ、文章の多さにより興味・関心を招きにくいことなどが考えられる。概要版や用語集など市民に伝わる内容とするよう心がけていく。

Q 小中学校の統廃合、新規事業等市民意見を聴くための市民ワークショップを開催する基準は。

A ワークショップには開催基準はない。

Q 市民意見を幅広く集めるために新たな手法を取り入れていくか。

A LINEオープンチャットやアイデアボックス等提案の手法も含め様々な手法について研究を進めるとともに、これまで市政に参加する機会が少なかった方も含め市民の意見を幅広く集め、まちづくりへ反映できるよう努める。

他に「健康で元気に暮らせるまち」について質問しました。

A 今後はこうしたものを有効に活用していきたいと考えております。

